

部局名	上下水道局	所属名	経営企画課	所属長名	御園生 悟	電 話	483-6572
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9909		事務事業名称	会計管理費（水道事業_収益的支出）						短縮コード	経常	9909	臨時	
予算区分	会計	63	水道事業会計_収益的支出	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	05	総係費		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等		①八千代市水道事業及び公共下水道事業会計規程    ②地方公営企業法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
昭和43年4月水道事務所開設に伴い企業会計を採用する。														
事務事業を取り巻く状況の変化    又、今後の変化の推測					総 合 計 画 の 施 策 体 系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
事務のO A化が益々進化する。地方公営企業法の改正が予定されている。 。						大項目（節）	04	水道						
						中 項 目	01	水道						
						小項目（施策）	01	水道の運営基盤の向上						
						細 項 目	03	水道事業の健全経営						
					実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無				<input type="checkbox"/>	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	水道事業に係る収入・支出・資産管理事務							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 水道事業に係る収入を日計表により管理し、手持ち資金を定期預金等により運用を行なった。支出についての支払事務を行なった。資産管理事務については、棚卸資産の管理・取得資産の振替・固定資産の減価償却・資産の除去及び決算審査資料・水道事業会計の決算書及び決算付属書類の作成を行なった。							
	※平成23年度に計画していること： 水道事業に係る収入を日計表により管理し、手持ち資金を定期預金等により運用を行なう。支出についての支払事務を行なう。資産管理事務については、棚卸資産の管理・取得資産の振替・固定資産の減価償却・資産の除去及び決算審査資料・水道事業会計並びに下水道事業会計の決算書及び決算付属書類の作成を行なう。法改正に伴う公営企業管理システムの変更委託を行う。							
意図 （何を狙っているのか）	1. 水道事業に係る収入を管理する。    2. 水道事業に係る支払事務を行う。    3. 固定資産の管理を行う。    4. 例月・定期監査を受ける。    5. 棚卸資産の管理をする。    6. 企業会計システムの管理を行う。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	水道事業に係る収入	千円	4, 812, 799	4, 919, 171	5, 002, 785	4, 821, 350	
	指標 2	水道事業に係る支出	千円	5, 766, 932	7, 714, 283	7, 030, 358	6, 421, 520	
	指標 3	水道事業に係る資産	千円	40, 315, 905	84, 737, 739	41, 690, 321	41, 493, 207	
活動指標	指標 1	事務事業に係る日数	日	242	243	243	244	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	水道事業の伝票件数（調定・収入伝票）	件	1, 810	1, 800	1, 926	1, 800	
	指標 2	水道事業及び下水道事業の伝票件数（支出伝票）	件	1, 715	1, 700	1, 724	1, 700	
	指標 3	棚卸資産の減少率（棚卸資産不明率）	件	0	0	0	0	
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							



コード	9909	事務事業名称	会計管理費（水道事業_収益的支出）				所属名	経営企画課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続			予算の編成及び執行、決算の調整等会計事務のため継続的に行なっていく。システム見直しについては検討していく。			
		<input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善						
		<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小						
		<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し						
	<input type="checkbox"/> その他							
<input type="checkbox"/> 廃止・休止								
<input type="checkbox"/> 事業完了								
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			公営企業会計システムの見直し等により、成果を向上させることができるが、現状では維持であり、システムの見直しが行われた場合、経費が増加する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
低 下	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
特になし。									

所属長コメント	予算の管理、決算の集計等の会計事務のため継続的に行う必要がある。今後、地方公営企業会計制度の見直しがされたことを受け、制度改正に併せて現会計システムの見直し作業等の大規模な作業が発生することから、平成２５年度予定の運用等に向けて十分な準備を行う。									
	評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
		<input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善								
		<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小								
		<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し								
<input type="checkbox"/> その他										
<input type="checkbox"/> 廃止・休止										
<input type="checkbox"/> 事業完了										
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続										